



令和3年9月13日

飯能市長 新井 重治 様

(一社) 飯能インターナショナル
スポーツアカデミー
代表理事 木下 聡一郎

希少野生植物コ克蘭移植後のモニタリング結果について (報告)

令和2年11月、12月の2回に渡り、改変区域から残地森林の適地(2箇所)に移植したコ克蘭45株について、移植後のモニタリングを実施しましたので、下記のとおり報告します。

なお、モニタリング結果の詳細については、埼玉県環境部みどり自然課へ提出しております。

記

1. 実施日 令和3年6月21日(月)

2. モニタリングの結果

移植地	1	2
植 生	コナラ群落	スギ植林が隣接するコナラ群落
地 形	斜面中部	斜面中部
標 高	約155m	約150～155m
斜面方位	北西	北西
傾 斜	10～20度	10～20度
土 壤	落ち葉や腐葉土の堆積は2～3cm程度 表層土壌がむき出しとなっている部分が多い 土壌は粘土質で黄土色の層のみ 根茎の侵入は多くない	落ち葉や腐葉土の堆積は2～3cm程度 表層土壌がむき出しとなっている部分が多い 土壌は粘土質で黄土色の層のみ 根茎の侵入は多くない
周辺に生息 する重要種	コ克蘭、カンアオイ、シュンラン、 オオバノトンボソウ等	カンアオイ、シュンラン、サイハイラン オオバノトンボソウ等
移植株数	23株	22株
移植株数のうち モニタリングで 確認された株数	14地点14株	13地点13株
その他確認され た株数(新株)	4地点5株	5地点6株

※「その他確認された株数」とは、昨年移植時に発見できなかった株が新たに見つかったもので、昨年移植した株から株分けしたものが地表面に現れたもの又は移植時に地上部の確認はできなかった株が地下部で生存しており、今年に入り発芽したものであると推測される。

※移植株数のうち、今回のモニタリングで発見されなかった株については、地上部は消失していたが地下部の生存により、数年後に発芽することもあることから、消失個体についても引き続きモニタリングにより確認をしていく。